



報道関係者各位

産業能率大学スポーツマネジメント研究所調査

2020東京五輪 注目の競技

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：中川直樹 情報マネジメント学部教授）は、2020東京五輪の注目の競技等についての調査を2021年2月12日（金）～15日（月）に実施しました。対象は、1月28日（木）から2月2日（火）にインターネット調査会社を通じて実施した「コロナ禍における東京五輪開催に関する意識を尋ねる調査」結果を受けて、「今夏の2020東京五輪開催肯定者」に追加で調査を実施し1000名から回答を得たものです。

調査から、今回の東京五輪で注目されている競技について、コロナの影響で開催が危ぶまれる状況下ではあるものの、特定の競技への興味・関心、男女別・年代別の傾向が明らかになりました。

一番注目している競技

総合では、1位の「野球・ソフトボール」が突出。2位 陸上競技、3位 サッカー、4位 水泳と続く。男性の1位は「野球・ソフトボール」、女性の1位は「水泳」。

総合		
順位	競技名	支持率
1	野球・ソフトボール	17.3%
2	陸上競技	11.1%
3	サッカー	9.4%
4	水泳	9.3%
5	バドミントン	6.2%

男性		
順位	競技名	支持率
1	野球・ソフトボール	22.9%
2	サッカー	13.3%
3	陸上競技	10.6%

女性		
順位	競技名	支持率
1	水泳	12.1%
2	陸上競技	11.7%
3	体操	10.6%

男性 × 年代 30代のみ「サッカー」、他の年代は「野球・ソフトボール」が1位

男性 年代別1位		
年代	競技名	支持率
20	野球・ソフトボール	25.8%
30	サッカー	25.7%
40	野球・ソフトボール	26.9%
50	野球・ソフトボール	24.5%
60	野球・ソフトボール	18.5%

女性 × 年代 20代・40代は「水泳」、30代・50代は「野球・ソフトボール」、60代は「体操」が1位

女性 年代別1位		
年代	競技名	支持率
20	水泳	13.0%
30	野球・ソフトボール	14.3%
40	水泳	17.0%
50	野球・ソフトボール	16.8%
60	体操	19.4%



【調査結果】

Q：(2020東京五輪で実施される33競技の中から) あなたが一番注目している競技をお答えください

1位 野球・ソフトボール、2位 陸上競技、3位 サッカー、4位 水泳

- ◎ 30代では「サッカー」、60代では「陸上競技」「水泳」、他の年代では「野球・ソフトボール」が1位である。
- ◎ 男性の1位は、30代のみが「サッカー」、それ以外は「野球・ソフトボール」となった。
- ◎ 女性では年代により1位も変動し、20代・40代では「水泳」、30代・50代では「野球・ソフトボール」、60代では「体操」となる。

全体 (N=1,000)			
順位	競技名	票数	支持率
1	野球・ソフトボール	173	17.3%
2	陸上競技	111	11.1%
3	サッカー	94	9.4%
4	水泳	93	9.3%
5	バドミントン	62	6.2%
6	柔道	59	5.9%
7	体操	57	5.7%
	卓球		
9	テニス	53	5.3%
10	ゴルフ	33	3.3%
	バレーボール		

年代別1位			
年代	競技名	票数	支持率
20	野球・ソフトボール	20	17.9%
30	サッカー	24	19.0%
40	野球・ソフトボール	45	19.1%
50	野球・ソフトボール	54	21.1%
60	陸上競技	34	12.6%
	水泳		

男性 (N=555)			
順位	競技名	票数	支持率
1	野球・ソフトボール	127	22.9%
2	サッカー	74	13.3%
3	陸上競技	59	10.6%
4	柔道	40	7.2%
5	水泳	39	7.0%

女性 (N=445)			
順位	競技名	票数	支持率
1	水泳	54	12.1%
2	陸上競技	52	11.7%
3	体操	47	10.6%
4	野球・ソフトボール	46	10.3%
5	バドミントン	40	9.0%

男性 年代別1位			
年代	競技名	票数	支持率
20	野球・ソフトボール	17	25.8%
30	サッカー	18	25.7%
40	野球・ソフトボール	35	26.9%
50	野球・ソフトボール	35	24.5%
60	野球・ソフトボール	27	18.5%

女性 年代別1位			
年代	競技名	票数	支持率
20	水泳	6	13.0%
30	野球・ソフトボール	8	14.3%
40	水泳	18	17.0%
50	野球・ソフトボール	19	16.8%
60	体操	24	19.4%



2021年4月26日

【調査概要】

調査時期：2021年2月12日(金)～15日(月)の4日間

調査方法：インターネットリサーチ

調査対象：1月28日(木)から2月2日(火)にインターネット調査会社を通じて実施した「コロナ禍における東京五輪開催に関する意識を尋ねる調査」結果のうち、以下4種類の質問と回答に該当した方

問題は山積みだが、実際に開催されたら、競技中継を注目して視聴すると思う	「Yes」
努力を続けるアスリートのことを考えると、なんとか今年に開催してあげたい	「Yes」
東京五輪が再延期されることもなく完全に中止になったら、喪失感が大きい	「Yes」
全世界でコロナが終息するまで、冬季も含めて五輪の開催は見合わせるべきだ	「No」

※サンプル割付は、総務省統計局の都道府県別・性別・年代別の最新推計構成比に基づく。(2020年4月14日公開、2019年10月1日現在人口推計)

調査サンプル(性別・年代別内訳)

単位：人

全体		1000
性別	男性	555
	女性	445
年代	20代	112
	30代	126
	40代	236
	50代	256
	60代	270
性年代	男性 20代	66
	男性 30代	70
	男性 40代	130
	男性 50代	143
	男性 60代	146
	女性 20代	46
	女性 30代	56
	女性 40代	106
	女性 50代	113
	女性 60代	124

調査サンプル(都道府県別内訳)

単位：人

北海道	36	滋賀県	10
青森県	7	京都府	18
岩手県	11	大阪府	80
宮城県	18	兵庫県	36
秋田県	10	奈良県	7
山形県	7	和歌山県	5
福島県	11	鳥取県	5
茨城県	18	島根県	6
栃木県	12	岡山県	12
群馬県	18	広島県	28
埼玉県	69	山口県	16
千葉県	44	徳島県	6
東京都	120	香川県	8
神奈川県	88	愛媛県	6
新潟県	20	高知県	7
富山県	17	福岡県	39
石川県	11	佐賀県	3
福井県	10	長崎県	15
山梨県	7	熊本県	12
長野県	15	大分県	4
岐阜県	14	宮崎県	7
静岡県	21	鹿児島県	12
愛知県	58	沖縄県	7
三重県	9		

【産業能率大学】

■ホームページ：<https://www.sanno.ac.jp/>

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

産業能率大学 企画課

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

Email：kikaku@hj.sanno.ac.jp TEL:03-3704-0731